

グローバル化進展の中での我が国の 国際交流機能・活動の現状と課題について（論点）

<資料のポイント>

1. 我が国の人流・物流・情報流・観光等の国際交流は進展しているか。その地域特性、格差はどうか。
2. 我が国の国際交流機能（海外とのアクセシビリティ）は如何向上しているか。その地域特性、格差はどうか。
3. 海外諸国と比較して我が国（地域）の交流の水準はどのような状況か。
4. 世界の中での東アジアの成長状況は。我が国との相対関係の変化は。
5. 東アジアの活力を我が国に取り込む可能性は。

- ・ グローバル化の進展の中で、我が国の人・物・情報に関する国際交流量はすべての地域ブロックで確実に増大。特に対中国が増加。国際的な諸活動の地域差は大きい。
- ・ 定期航空路、定期コンテナ航路等の地方圏への展開により、近隣諸国へのアクセシビリティは全国的に向上し、地域差も減少傾向。
- ・ しかし、対東南アジア、欧米への人口当たり出国者など、依然三大都市圏を含むブロックとそれ以外で明瞭な差。その背景としてアクセシビリティの地域差がある。
- ・ 海外主要国に比べ、我が国は国際交流量は活発とは言えない。
- ・ 世界の中でアジア発着の交流量が増大。東アジアの成長に伴い、我が国の国際交流拠点としての相対的地位が低下。
- ・ 日本企業の東アジアへの進出が活発。我が国の対中国の輸入のみならず輸出も急増。

<論点>

1. 我が国の国際交流量や機能の進展をどうとらえるか？
2. 我が国の国際交流の水準が国際的に見て低い要因や今後の方向性は何か？
3. 我が国の各地域ブロックのポテンシャルを活かすための海外へのアクセシビリティの向上、地域差を如何考えるか。
4. 成長するマーケットとしてなど、東アジアの活力を我が国に取り込む可能性は？そのための交流の方向性は？

(参考) 次回の論点について

主な資料のポイント(予定)

1. 東アジアと日本の相対関係の変化(経済、産業面等)
2. アジアと日本の交流に影響を及ぼす事項の動向(FTA、広域プロジェクト等)
3. 各地域の特性を生かした東アジアとの交流の実態
4. 各地域の国際的な魅力、競争力を高める産業や知的資本等の域内連携の実態
5. 広域国際交流圏の進展状況

主な論点(予定)

成長する東アジアの一員として活力ある国土形成を図るため、各地域ブロックの特性を生かした東アジアとの交流・連携戦略を考えていくことは必要か。また、どのように考えていくべきか。